



フェリス女学院創立 150 周年記念募金 実績報告 (2016.6-2020.3)

2020年3月31日までの寄付総額は **約 2億 6,570万円** です。

2020年 創立 150周年に向けて、さらなるご支援を皆様にお願ひ申し上げます。

【共通】記念事業	6,720万円 (67%)	目標額：1億円
【大学】記念事業 (一次)	3,669万円 (73%)	目標額：5,000万円
【大学】記念事業 (二次)	909万円 (18%)	目標額：5,000万円
【中高】記念事業	1億 5,272万円 (102%)	目標額：1億 5,000万円

これまで、ご協力いただいた皆様

企業・法人総額 **892**万円 (41社)

団体総額 **5,200**万円 (白菊会、りてら、りべるて、Fグループ、奨学会等)

個人総額 **20,478**万円 (2,106名)

・大学(短大)卒業生	1,449万円 (449名)	・中高卒業生	6,900万円 (601名)
・大学在学学生保証人	991万円 (189名)	・中高在校生保護者	8,202万円 (714名)
・教職員(※)	443万円 (60名)	・理事・監事・評議員(※)	1,896万円 (28名)
・その他の方	597万円 (65名)		

(※) 現・元

ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

引き続きご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

募集期間は 2020年12月末 までです。

専用振込用紙
での寄付

クレジットカード
での寄付

口座振替
での寄付



150 周年記念事業概要

2020 年 創立 150 周年を迎えました

共通 記念事業

募金目標額 1 億円

～150 周年記念館の設置等～

昨年 10 月から約半年間かけて、山手 6 号館を「150 周年記念館」とする改修工事を進めてきました。6 号館の教室機能を維持しつつ、常設の歴史資料館を設置し、自校教育の拠点とするとともに、外部の皆様へ公開し、「横浜のフェリス」を広く社会に発信していきます。また、各同窓会室または分室を新設するとともに、教室を卒業生にも気軽に利用してもらえるように改修し、卒業生との関係の強化にも取り組んで参ります。今後は、あらたに整備された 4 階ホワイエや地下 1 階の講堂（606 教室）を活用し、卒業生向けセミナーや各種学会等の開催も視野に入れ、多くの方にご利用いただける施設を目指しています。そのほかに、『学院 150 年史』、図録年表『フェリスのあゆみ』を刊行し、フェリス女学院の教育の歩みを明らかにし後世に伝えられるよう、編集作業を進めています。



歴史資料館イメージ

大学 記念事業(二次)

募金目標額 5000 万円

～ラーニングコモンズ整備事業～

大学では、学生の主体的な学びを促進する環境として、ラーニングコモンズ※を整備しました。緑園キャンパスの図書館棟を改修し、従来の図書館機能に加え、グループ学習や個々の学生のニーズや能力に応じたきめ細やかな学修支援の充実、ライティングスキル・リサーチスキル・プレゼンテーションスキルの向上を目指します。また、ミニワークショップ等のイベントを実施できる場所、そして、なにより学生たちに“居心地のよい場所”を提供します。今年度からは、アカデミックスキル向上を目的としたライティングサポートデスクの設置、運営体制の構築を進めるとともに、言語センター等の改修を進めていきます。

※複数の学生が集まって自主学修の場として活用することのできる空間



新たに整備されたラーニングコモンズ

中高 記念事業

募金目標額 1.5 億円

～外構及び環境整備事業～

中高では、新体育館が 2014 年度に、新 2 号館が 2015 年度に竣工し、第二期工事を一旦完了いたしました。これにより、校舎、体育館、グラウンドが機能的に接続され、一体感がある配置となり教育環境の整備が進みました。150 周年記念事業では、第二期工事の集大成として、外構、特に中庭通用門を中心とした校地の整備を行います。



中高正門（現在）



新 2 号館と旧体育館跡地（現在）

【お問い合わせ先】

学校法人フェリス女学院本部事務局 維持協会担当

Email:hsoumu@ferris.ac.jp

Tel:045-662-4511